

海よ永遠に！

1. 自治体：忠清南道
2. 発表者名：ソン・シミョン (SEONG Simyeong)、ユ・ヨングン (YU Young geun)
禮山高等学校
3. 活動名：海よ永遠に！
4. 活動期間：2011年4月～2012年6月現在
5. 活動場所：泰安万里浦海水浴場、瑞山干拓地(A-B地区)、大川地域の海と干潟、エダン貯水池、ムハン川
6. 活動参加人数：25名(PSY -Professional Science in Yesan high school-科学探究サークル)
7. 活動を始めた経緯
 - 1) 映画 Oceans を見た後、海に対する愛着の気持ちがさらに高まり、海洋環境について調べることにした。
 - 2) 徐々に減っている生物資源の宝庫である西海岸の干潟について好奇心が芽生えてきた。
 - 3) ホベイスピリット号原油汚染事故による海の汚染でどのような問題が起きているのか、好奇心が出てきた。
8. 発表要旨
 - 1) 海のありがたさ
 - (1) 私たちにとって海はどうして大事なのか？

海は生物が初めて生まれた場所として、地球の気温を調節する役割をし、魚介類や海藻類など様々な食糧の提供、生きるために必要な鉱物、エネルギー、水資源など色々な資源を保有している宝庫である。陸地から流れてくる物質を受け入れ自浄作用により汚染物質を分散処理する役割もある。
 - (2) 海洋汚染の原因ときれいな海を保つための実践事項
 - ① 海洋汚染の原因にはどのようなことを挙げられるか？

生活排水、糞尿や廃棄物、産業廃水や廃棄物、畜産排水、船舶や海洋施設から排出・流出する油類、漁業活動で捨てられている各種ゴミなど
 - ② きれいな海を保存するために我々が実践できることは何か？

ゴミを捨てないこと、環境にやさしい製品の使用、食事の後片付けの前に油汚れの除去、水の再利用、日常生活での廃棄物を分別回収し、リサイクルするなど。
 - 2) 減っていく西海岸の干潟(生物資源の宝庫)の重要性
 - (1) 干潟とは？ 海辺が満ち潮になる時は海になり、引き潮になると陸地が現れる平らな場所
 - (2) 干潟の機能とは？ ①経済的な価値 ②生息地(渡り鳥の休息地や繁殖地)
③自然浄化作用 ④自然災害や気候調節機能
⑤文化的な機能(レジャー空間、自然教育の場)
 - (3) 干潟調査の方法及び調査時の注意事項
 - ①準備物 ②干潟調査時の注意事項③調査方法

3) ホベイスピリット号原油汚染事故

(1) ホベイスピリット号原油汚染事故は、2007 年 12 月 7 日 万里浦北西側 5 海里の海上で発生

(2) 忠南泰安地域の被害状況：468.9 kmの本土部海岸と、93.5 kmの島嶼部海岸で原油汚染被害があった。(国土海洋部, 2008)。特に遠北面新斗里 (wonbukmyeon sinduri) 海岸では、油を防除する人員及び車両の出入りによって、砂丘地帯があちこちで壊される 2 次被害があった。

(3) 結果：調査結果は、柔らかい底質であった 2 地点で著しい差が現れた。優占度(ユウセンドー種勢力)や均等度は万里浦海水浴場が高く、海洋底生無脊椎動物の種数と 多様度や種分布はパラムアレ海水浴場の方が高かった。これらのことは、万里浦海水浴場の環境が悪化していることを表している。万里浦の海洋底生無脊椎動物は、大きな打撃を受けており、回復には長い時間がかかると思われる。

(4) 結論：万里浦地域の継続的なモニタリングを通じて、軟らかい海底質である潮間帯(軟底質潮間帯)の回復期間について長い時間をかけて記録し、正確な被害の復旧期間が分かるように生物の変化に関するデータを継続的に蓄積していく必要があると考えている。

4) 海や干潟からの恩恵を認識し、感謝する気持ちと、守っていく、保護する努力は永遠に続けていくべきである。